



「地域協働学校」ふじみ野市立鶴ヶ丘小学校

CS News

令和6年度 No. 2

令和6年6月4日（火）

鶴ヶ丘小学校 学校運営協議会



日頃より保護者及び地域の皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、まことにありがとうございます。たまたま学区を歩いていた際、このCS Newsをご覧になっていた地域の方がいらっしゃいました。興味をもっていただいている地域・保護者の方がいるようで大変うれしく思います。ありがとうございます。引き続き、本校の保護者・地域連携について詳しく紹介していきますので、是非ご一読お願いいたします。

今号では、令和6年度第1回学校運営協議会の様子や、コミュニティ・スクールの活動について、紹介いたします。

○第1回学校運営協議会(議事録より抜粋)

【日時】 令和6年4月18日（木）

◆委員自己紹介

- 1 開会
- 2 会長選任・会長あいさつ（樂山様に決定いたしました。）
- 3 校長あいさつ
- 4 学校経営方針及び年間行事予定の説明
- 5 連絡
 - ・CS News 発行についての説明
- 6 熟議

目指す子供像について（鶴小の子供たちにどのように育ってほしいか？）



コミュニケーションボード「円たくん」を活用し、熟議を行いました。熟議の中で出た主な意見を紹介いたします。

- ・ゲームの影響からか、自分で考えて「遊ぶ」という力が不足している。自分でどうしたいのか、判断・実行にうつす力を身につけさせたい。
- ・「心をつなぐ」という視点で考えると、異学年交流や子供同士の関わりが不十分。コロナの影響で個々で楽しむ傾向がある。町内会では、子供同士が関わる機会をつくる。学校では、登校班や縦割りグループの活動を充実させる必要がある。
- ・明るいまいさつをしてくれる児童が増えてきた。地域の人々の顔がわからないと警戒することがある。もっと地域と子供のつながりを深める必要がある。
- ・子供は、公園で集まり、ゲームをしている。遊びの変化もあるが、公園ではボール遊びをしないというルールがあることも影響があるかもしれない。公園の使い方について子供たちがルールを考えるという取組をしている地域もある。
- ・子供は昔と変わらないが、社会が目まぐるしく変化している。「AI」「パソコン」「ゲーム」など子供を取り巻く環境が変化している以上、大人が変わっていく必要もある。
- ・子供の連絡手段は、LINE がほとんどである。電話は使ったことがない。メールも使わない。コミュニケーションが変化している。インターネットのリテラシーを教えることも必要。
- ・現代の子供は、学校の宿題、習い事など、忙しく自由な時間がない。寝不足の子も多く、ねむりの質も低いようである。体調不良の子も多い。
- ・現在はスマホで調べれば簡単に答えが出る時代である。「自分で考える。」「時間をかける。」「あきらめずに努力する。」ということを改めて教える必要がある。

※熟議ででた意見を参考にしながら、教育活動を進めてまいります。保護者・地域の皆様も鶴小の子供たちの健やかな成長のために、引き続きご協力よろしくお願いします。

○コミュニティ・スクールの活動について

コミュニティ・スクールは大きく分けて二つの活動があります。学校運営協議会と地域学校協働活動です。学校運営協議会で様々な知恵を出し合い、地域学校協働活動を通して地域や保護者と学校が協働しながら教育活動を充実させるというイメージです。

本校は学校応援団を組織し、保護者の皆様が中心となりながら、子供たちの学習支援や学校の環境整備の充実を図っています。今年度もすでに、家庭科の手縫いボランティアや新体力テストの補助ボランティアが活動しています。ご協力ありがとうございます。今後も「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」を一体となって推進していきます。

CS のイメージ

